

1 周辺の再開発と連携した水辺のにぎわいづくり

「(仮称) 芝浦一丁目計画」と連携して日の出ふ頭の機能を強化します！

日の出ふ頭を人々が集い賑わう水辺空間にするためには、周辺の再開発事業とも連携し、浜松町駅等からふ頭への人の流れを創り出すことが重要です。東京都港湾局は、日の出・竹芝ふ頭をつなぐ人道橋や棧橋の改修等を進め、日の出ふ頭を舟運の拠点とすることを目指しています。

日の出ふ頭をさらに賑わいのある水辺空間とするために、港湾局は、民間事業者が進めている「(仮称) 芝浦一丁目計画※」と連携して、日の出ふ頭北側の港湾局用地に民間事業者の負担で小型船ターミナル等を整備・運営することについて合意し、平成29年6月に協定を締結しました。

引き続き芝浦・竹芝地区との連携を図り、さらなる賑わいを高め、舟運と地域を結びつけることで、日の出ふ頭の機能を強化していきます。

※「(仮称) 芝浦一丁目計画」の事業主体はNREG東芝不動産株式会社、野村不動産株式会社及び東日本旅客鉄道株式会社です。港湾局はこの計画の代表者であるNREG東芝不動産株式会社と協定を締結しました。



最寄駅からの歩行者動線を改善し、日の出と竹芝をつなぐ人道橋を再整備し一般開放することで、ふ頭への人の流れと地域の回遊性の向上を図っていきます。

2 日の出ふ頭ライトアップ社会実験

(1) 日の出ふ頭ライトアップ社会実験とは

東京港臨海部には、レインボーブリッジや東京タワー、そして、高層ビル群といった東京を象徴するランドマーク等と“港”が一体となった魅力的な夜景が広がっています。

日の出ふ頭は、隣接する竹芝ふ頭と共に、こうした夜景を海上から楽しめる小型船やクルーズ船等の発着拠点として更なる機能拡充に向けた取組等が進んでおり、その前面水域は夜景を一望できる優れた夜景スポットとなっています。

そこで、実際に日の出ふ頭の建物（一棟）をライトアップして船上からの夜景について都民や有識者の方々等のご意見をいただく社会実験を実施し、効果的な夜景の演出手法等の検討に活かしていくものです。

(2) 日の出ふ頭ライトアップ船上見学会

日時：

平成30年2月10日(土)・11日(日)・12日(月祝)・17日(土)
・18日(日) 16時30分～18時00分

コース：

お台場海浜公園水上バス乗場 → 東京港内見学 (60分)
→ お台場海浜公園水上バス乗場

